

八戸圏域水道企業団 令和7年度水道事業会計 決算の概要

令和 8 年 7 月 3 日
八戸圏域水道企業団
経 営 審 議 会

目次

1.業務実績		3
2.決算報告書		10
3.財務諸表		15
4.その他		
(1)主な建設改良工事		20
(2)給水収益の推移		21
(3)企業債償還状況		22
(4)留保資金の状況		23
(5)経営比較分析		24

1.業務実績

人口・世帯・配水量・有収水量
前年度比較

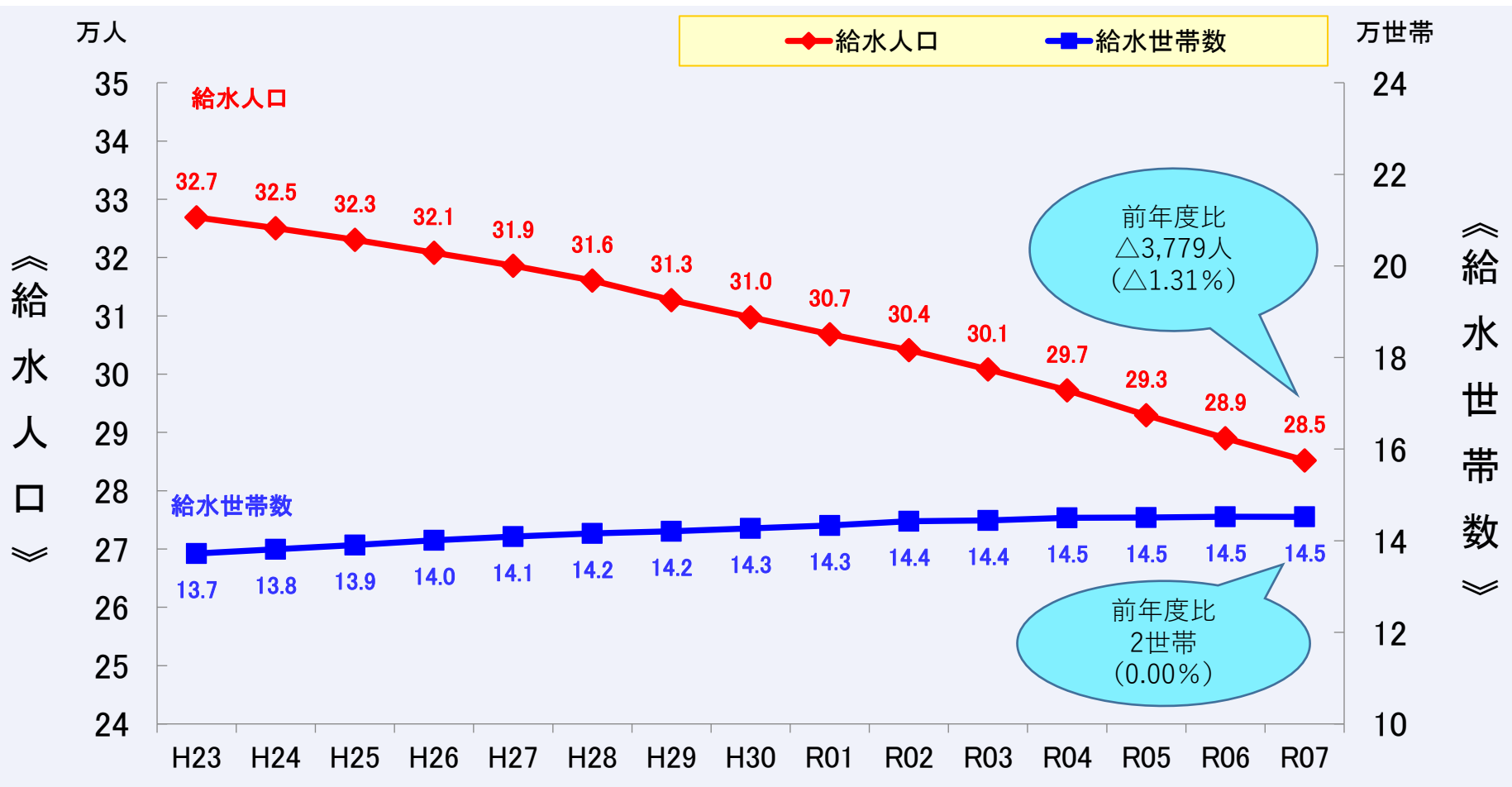
1.業務実績

〔前年度比較〕

事 項	令和7年度	令和6年度	増 減	増減率
① 給水人口	285,229人	289,008人	△3,779人	△1.31%
② 給水世帯数	145,214世帯	145,212世帯	2世帯	0.00%
③ 年間配水量	29,847,604m ³	29,699,429m ³	148,175m ³	0.50%
④ 一日平均配水量	81,774m ³	81,368m ³	406m ³	0.50%
⑤ 一日最大配水量	12月9日 95,162m ³	8月9日 88,286m ³	6,876m ³	7.79%
⑥ 年間有収水量	26,474,943m ³	26,588,671m ³	△113,728m ³	△0.43%
⑦ 有収率 ⑥÷③×100	88.70%	89.53%	△0.83ポイント	—

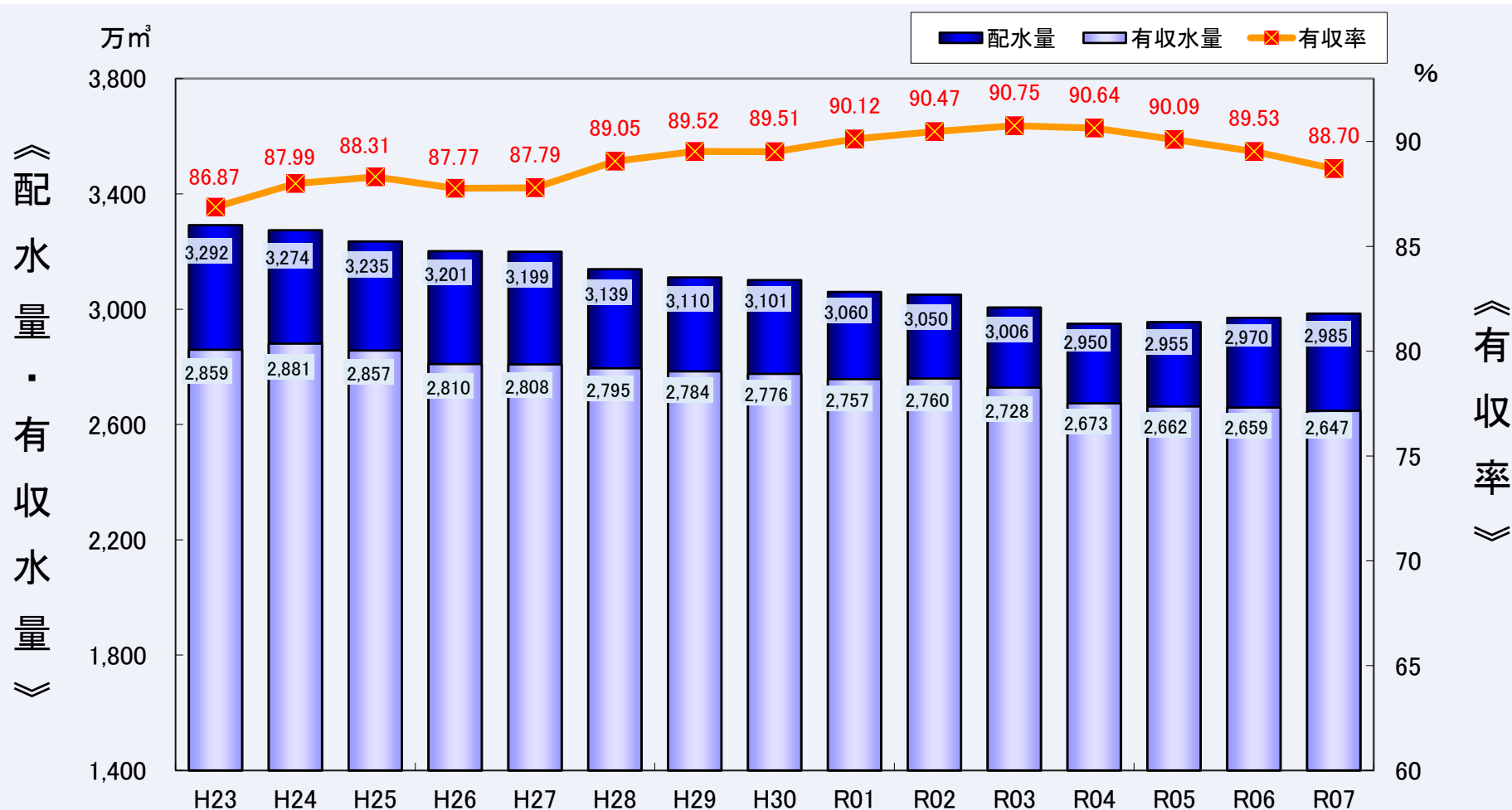
①給水人口・②給水世帯数の推移

給水人口は、平成14年度の33万9,149人をピークに減少しています。
給水世帯数は、横ばい傾向となっています。



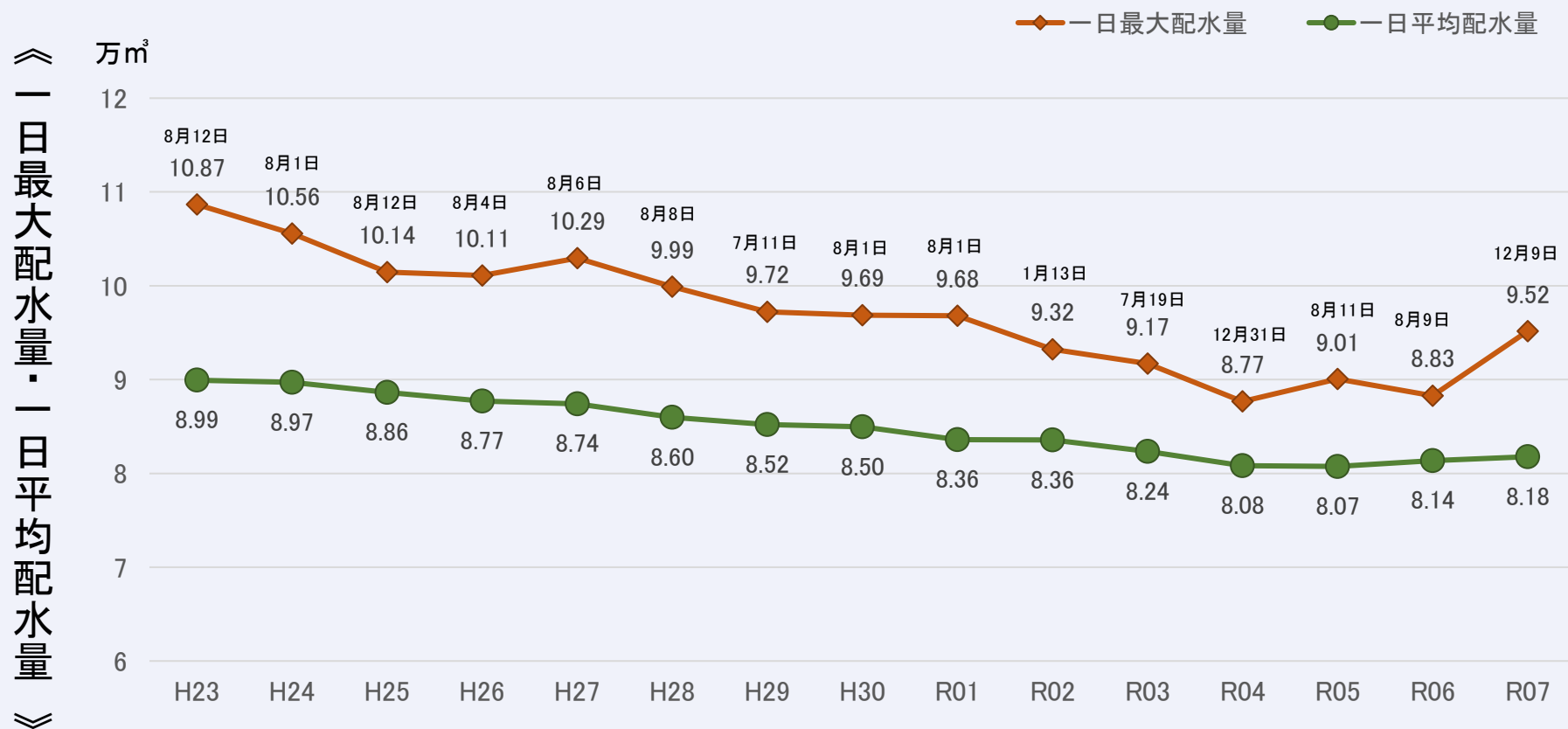
③配水量・⑥有収水量・⑦有収率の推移

配水量・有収水量は、平成9年度の3,651万506^m、3,071万4,683^mをピークに減少傾向にあります。令和7年度は地震の影響により、配水量は前年度より増加しましたが、有収水量は減少しました。有収率(配水した水がどれだけ収益に繋がっているかを表す)は、前年度より減少しました。

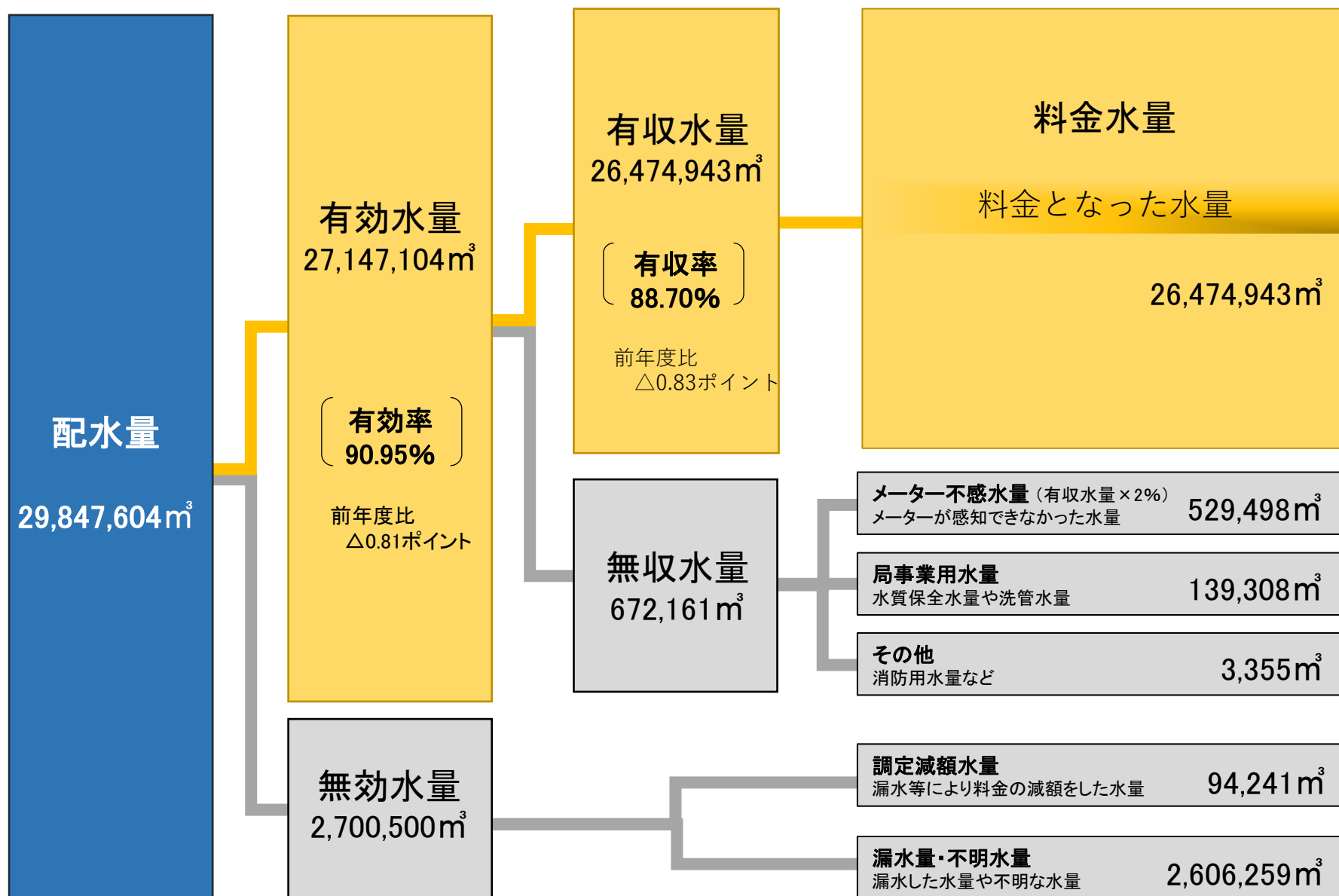


④一日平均配水量・⑤一日最大配水量の推移

12月8日に発生した地震の影響により年間配水量が増加したため、令和7年度の一日平均配水量も前年度より増加しました。最大配水量は、地震発生翌日の12月9日に記録しました。



③年間配水量の内訳



③年間配水量の内訳（前年度比較）

	7年度	6年度	増減	増減率
配水量	29,847,604m ³	29,699,429m ³	148,175m ³	0.5%
有効水量	27,147,104m ³	27,251,118m ³	△104,014m ³	△0.4%
有収水量	26,474,943m ³	26,588,671m ³	△113,728m ³	△0.4%
料金水量	26,474,943m ³	26,588,671m ³	△113,728m ³	△0.4%
無収水量	672,161m ³	662,447m ³	9,714m ³	1.5%
メーター不感水量	529,498m ³	531,778m ³	△2,280m ³	△0.4%
局事業用水量	139,308m ³	128,222m ³	11,086m ³	8.6%
その他	3,355m ³	2,447m ³	908m ³	37.1%
無効水量	2,700,500m ³	2,448,311m ³	252,189m ³	10.3%
調定減額水量	94,241m ³	54,774m ³	39,467m ³	72.1%
漏水量・不明水量	2,606,259m ³	2,393,537m ³	212,722m ³	8.9%

2.決算報告書

予算に対する決算の状況

2.決算報告書

〔予算の執行状況〕

消費税込み

(1) 収益的収入及び支出(損益取引)

単位: 千円

収益的収入	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増 減 額 ② - ①
水道事業収益(A)	8,860,729	8,926,463	65,734
営業収益	7,772,266	7,823,590	51,324
営業外収益	1,088,462	1,102,873	14,411
特別利益	1	0	△1

収益的支出	予 算 額 ③	決 算 額 ④	翌年度への 繰越額 ⑤	不 用 額 ③-④-⑤
水道事業費(B)	8,231,597	7,962,944	102,303	166,350
営業費用	7,866,558	7,613,700	102,303	150,555
営業外費用	360,976	347,183	0	13,793
特別損失	2,063	2,061	0	2
予備費	2,000	0	0	2,000

収支差引(A) - (B)	予算差引額	決算差引額	増 減 額
	629,132	963,519	334,387

消費税込み

単位:千円

(2) 資本的收入及び支出(資本取引)

資本的收入	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増 減 額 ② - ①
資本的收入(C)	1,085,211	966,567	△118,644
企業債	670,000	600,000	△70,000
工事負担金及び寄附金	206,619	210,906	4,287
国庫補助金	55,199	15,450	△39,749
水道加入金	150,374	137,192	△13,182
固定資産売却代金	3,019	3,019	0

資本的支出	予 算 額 ③	決 算 額 ④	翌年度への 繰越額⑤	不 用 額 ③-④-⑤
資本的支出(D)	4,411,961	3,802,347	518,245	91,369
建設改良費	3,612,835	3,003,222	518,245	91,368
企業債償還金	794,258	794,258	0	0
その他資本的支出	4,868	4,867	0	1

収支差引 (C)-(D)	予算差引額	決算差引額	増 減 額
	△3,326,750	△2,835,780	490,970


 補てん財源を使用

(3)補てん財源

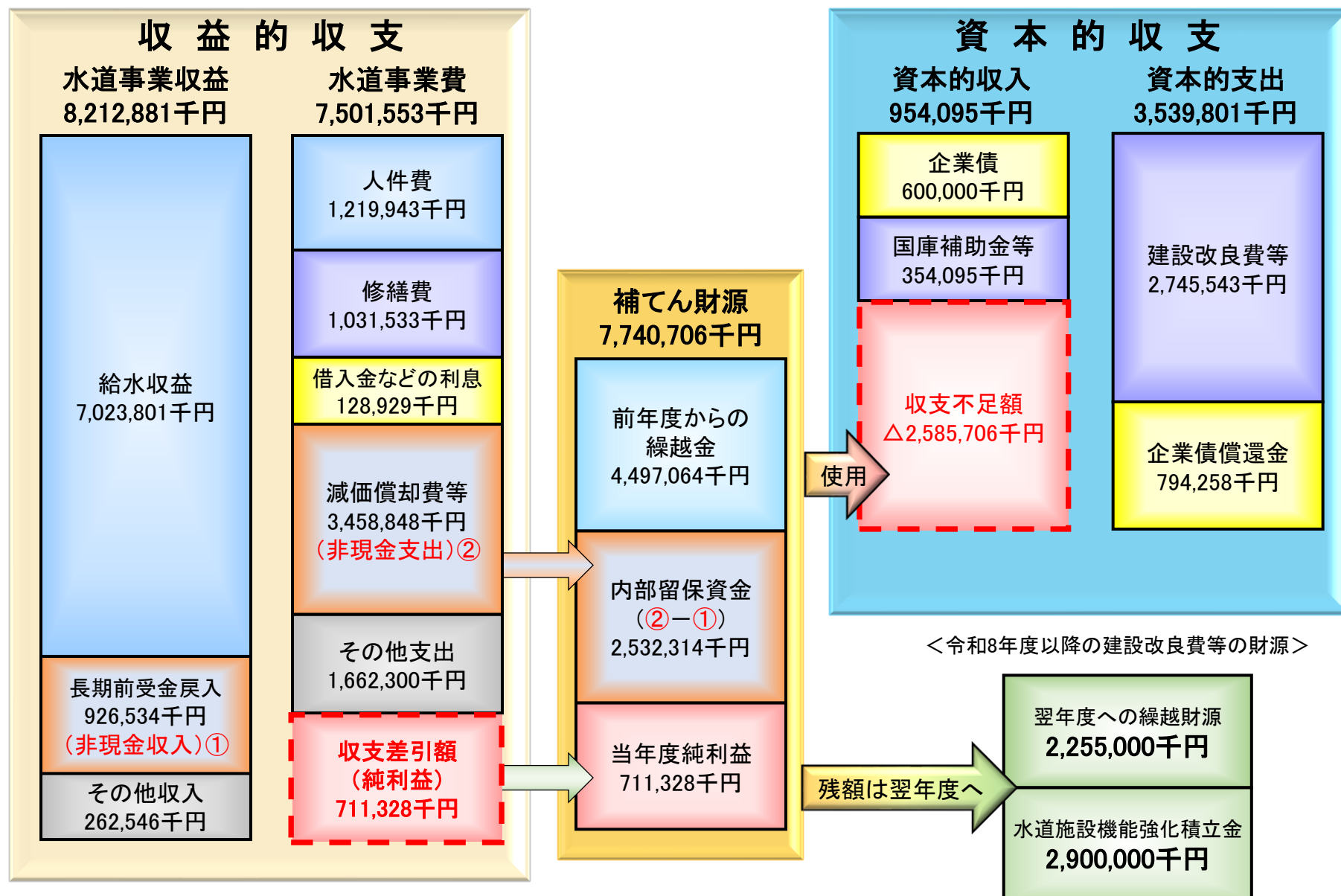
消費税込み

単位:千円

区 分	現 有 財 源	R7年度使用 (資本的収支不足額)	翌年度への繰越
消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	250,074	250,074	0
損 益 勘 定 留 保 資 金	2,722,954	2,212,155	(繰越の財源) 510,799
減 債 積 立 金	200,000	200,000	0
建 設 改 良 積 立 金	1,406,424	173,551	1,232,873
水 道 施 設 機 能 強 化 積 立 金	2,700,000	0	2,700,000
当 年 度 純 利 益 (消 費 税 抜 き)	711,328	0	※ 711,328
計	7,990,780	2,835,780	5,155,000

〔 ※当年度純利益は、減債積立金へ 2億円、建設改良積立金へ 3億1,132万8千円、水道施設機能強化積立金へ 2億円積み立て、令和8年度以降の建設改良事業や企業債償還の財源となります。 〕

収支状況(図)



3.財務諸表

損益計算書と貸借対照表

3. 財務諸表

消費税抜き
単位: 千円

(1) 損益計算書〔前年度比較〕

科 目	令和7年度	令和6年度	増減額 (R7 - R6)	増減の主な理由
営業収益 ①	7,121,577	7,207,108	△85,531	
給水収益	7,023,801	7,025,917	△2,116	水道料金収入の減
受託工事収益	2,966	1,149	1,817	共同施設の設備更新工事に伴う洋野町負担金の増
その他営業収益	94,810	180,042	△85,232	道路改良工事に伴う水道管移設工事負担金の減
営業費用 ②	7,343,289	7,476,788	△133,499	
原水及び浄水費	1,064,787	1,093,789	△29,002	各施設整備費の減など
配水及び給水費	1,136,945	1,290,621	△153,676	配水管更新事業に伴う給水管切替工事費の減など
漏水対策費	161,331	147,661	13,670	給水設備修繕工事費の増など
量水器費	245,268	226,185	19,083	量水器検定満期取替工事費の増など
受託工事費	2,966	1,149	1,817	共同施設の設備更新に伴う洋野町負担工事費の増など
業務費	531,920	517,538	14,382	検針等業務委託料の増など
総係費	741,458	722,292	19,166	人件費の増など
議会費・監査委員費	1,798	1,794	4	工事監査に伴う調査業務委託の増など
減価償却費	3,424,268	3,430,644	△6,376	固定資産の減価償却費の減
資産減耗費	32,548	45,115	△12,567	固定資産の除却費の減
営業利益 (①-②) ③	△221,712	△269,680	47,968	

(1) 損益計算書〔前年度比較〕

消費税抜き

単位: 千円

科 目	令和7年度	令和6年度	増減額 (R7-R6)	増減の主な理由
営業外収益 ④	1,091,304	1,122,590	△31,286	
受取利息	11,716	2,371	9,345	預金利息の増
下水道業務負担金	36,905	37,679	△774	電算処理委託料の減
構成団体負担金	15,480	15,448	32	児童手当負担金の増
長期前受金戻入	926,534	926,346	188	補助金等長期前受金収益化額の増
資本費繰入収益	12,566	12,327	239	統合した簡易水道事業債の元金償還金に対する繰入金の増
雑収益	81,312	128,419	△47,107	世増ダム売電交付金の減など
補助金	6,791	0	6,791	青森県東方沖の地震に伴う災害復旧費用の補助金の増
営業外費用 ⑤	156,205	149,381	6,824	
支払利息	128,929	137,422	△8,493	企業債支払利息の減
雑支出	639	11,959	△11,320	災害派遣費用の減など
災害運搬給水費	508	0	508	青森県東方沖の地震に伴う運搬給水費の増
災害復旧費	26,129	0	26,129	青森県東方沖の地震に伴う災害復旧費の増
経常利益 (③+④-⑤) ⑥	713,387	703,529	9,858	
特別損益 ⑦	△2,059	△708	△1,351	固定資産売却損の増
当年度純利益 (⑥+⑦)	711,328	702,821	8,507	

(2) 貸借対照表

消費税抜き

令和7年度決算

- ①総資産 920億5,319万円
- ②有形固定資産が全体の80%以上を占めている
- ③負債が全体の39%
- ④資本は全体の61%

資産の部	固定資産 83,856,867千円 (91%) うち有形固定資産 73,737,449千円 (80%)	負債の部	固定負債 11,104,810千円(12%)	
			流動負債 1,923,480千円(2%)	
			繰延収益 22,961,378千円 (25%)	
	負債合計 35,989,668千円(39%)			
	流動資産 8,196,321千円(9%)	資本の部	資本金 50,179,209千円 (55%)	
剰余金 5,884,311千円(6%)				
資本合計 56,063,520千円(61%)				
資産合計 92,053,188千円 (借り方)		=	負債・資本合計 92,053,188千円 (貸し方)	

4.その他参考資料

- (1) 主な建設改良工事
- (2) 水道料金収入の推移
- (3) 借入金の推移
- (4) 留保資金の状況
- (5) 経営分析

4. その他

(1) 主な建設改良工事

○施設工事

- ・新ひばり野配水塔・配水池築造工事(R5～R9継続事業)
- ・南高台配水場送水ポンプ盤更新工事
- ・是川ポンプ場ほかテレメータ更新工事
- ・河川水質監視装置更新工事
- ・柵ノ木配水池電気設備更新工事 など



新ひばり野配水塔・配水池築造工事

○管工事

- ・八太郎大橋添架管更生工事

(R6～R7継続事業)

更生440m 更新114m

- ・送水管更新

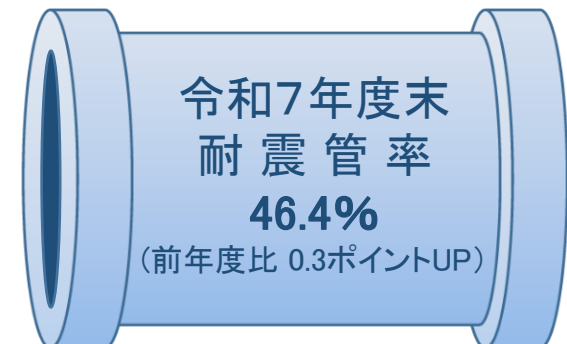
164m

- ・配水管更新

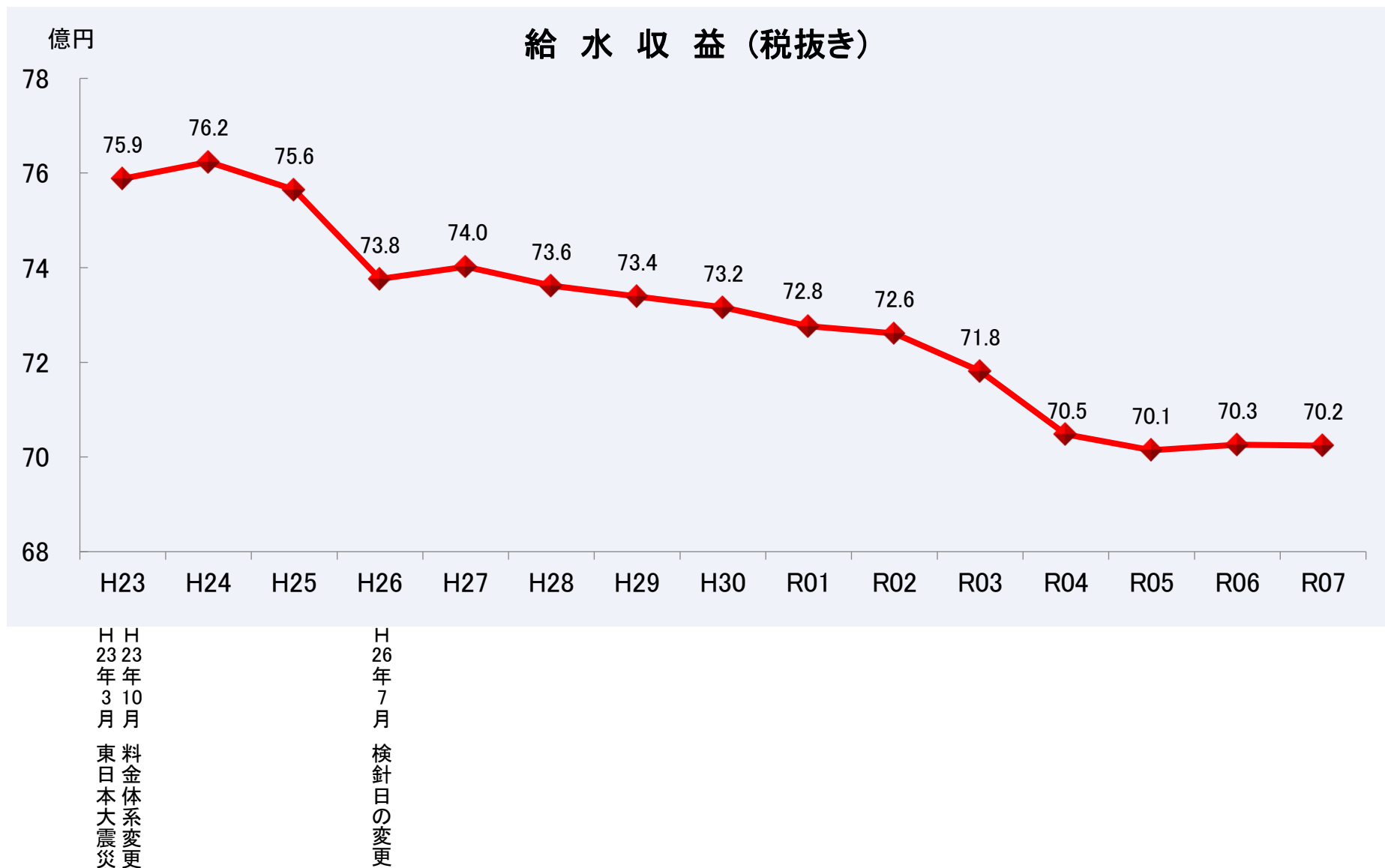
4,631m

- ・配水管布設

4,592m



(2) 給水収益の状況



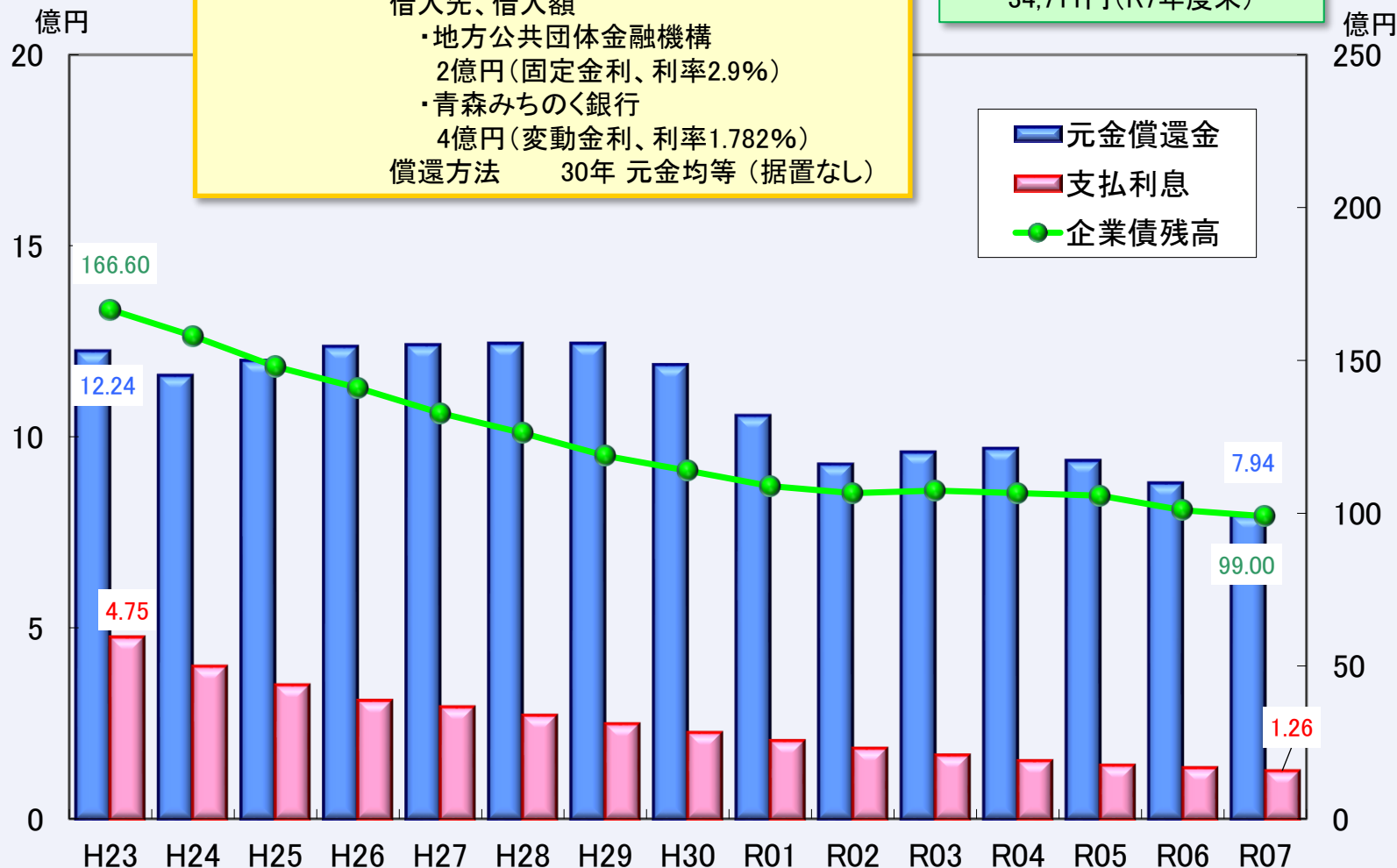
(3) 企業債償還状況

令和7年度 償還額 7.94億円
 借入先、借入額
 ・地方公共団体金融機構
 2億円(固定金利、利率2.9%)
 ・青森みちのく銀行
 4億円(変動金利、利率1.782%)
 償還方法 30年 元金均等(据置なし)

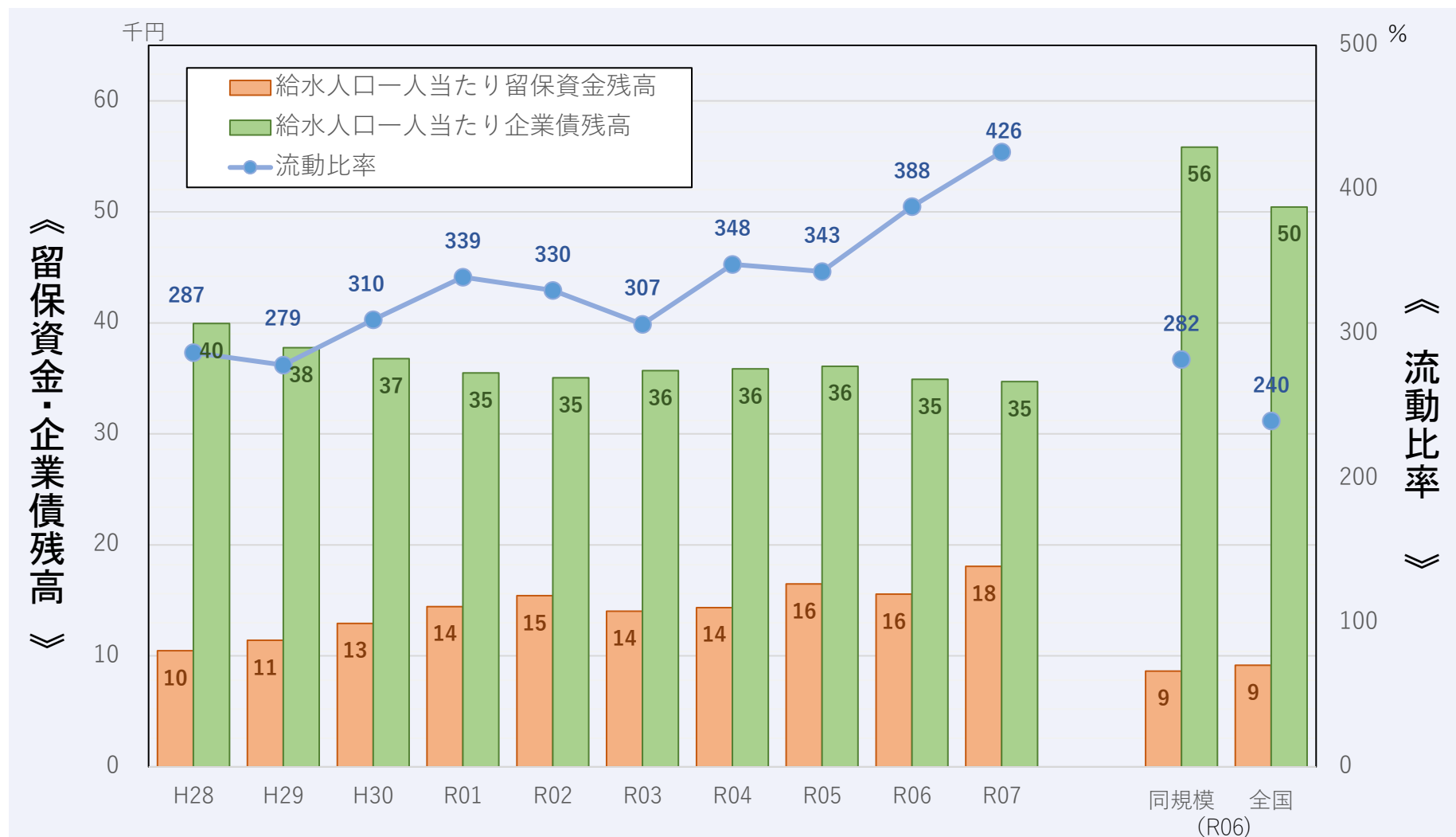
給水人口一人当たりの借金
 34,711円(R7年度末)

《元金償還金・支払利息》

《企業債残高》



(4) 留保資金の状況



同規模：給水人口15万人以上30万人未満 ・ 全国：末端水道事業計（企業年鑑より）

流動比率 = 流動資産／流動負債×100 ＜短期的資金の状況＞

留保資金残高 = (投資＋流動資産)－(流動負債＋固定負債引当金＋積立金)

企業債残高 = 固定負債・建設改良に係る企業債＋流動負債・建設改良に係る企業債

類似団体：給水人口15万人以上30万人未満

※令和3年度までは給水人口30万人以上(指定都市除く)

全 国：末端水道事業

グラフ凡例

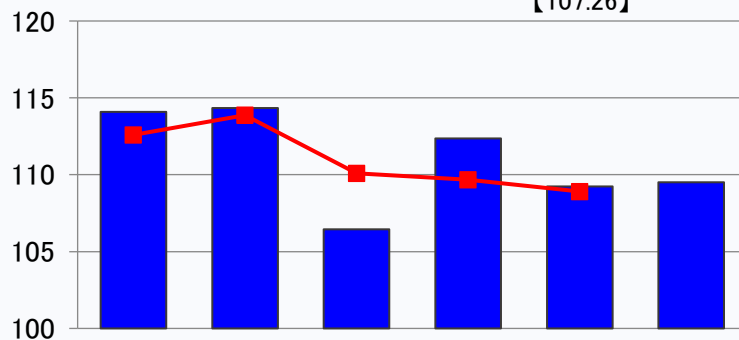
■ 企業団
 ■ 類似団体
 【 】 全国R06

(5) 経営比較分析

1. 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率(%)

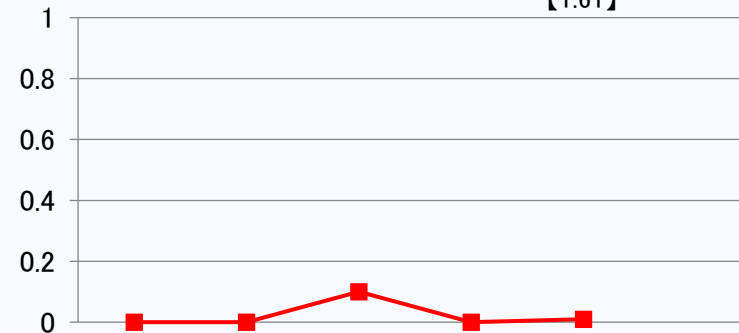
【107.26】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	114.09	114.33	106.44	112.35	109.23	109.51
類似団体	112.59	113.87	110.04	109.67	108.91	-

② 累積欠損金比率(%)

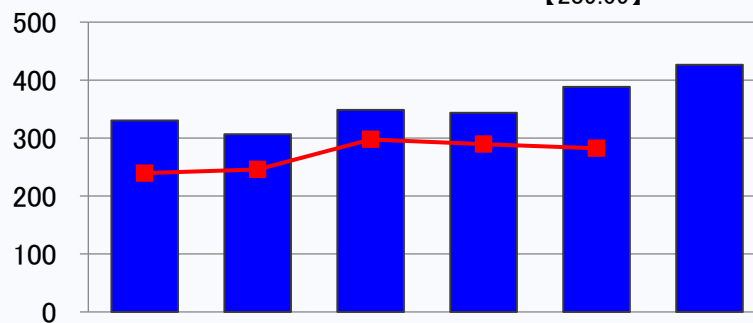
【1.61】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
類似団体	0.00	0.00	0.13	0.00	0.01	-

③ 流動比率(%)

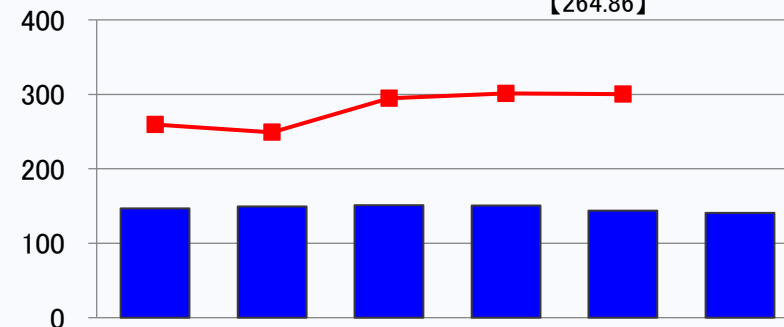
【239.69】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	330.24	306.68	348.32	343.30	388.30	426.12
類似団体	239.45	246.01	297.54	289.44	282.19	-

④ 企業債残高対給水収益比率(%)

【264.86】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	146.81	149.55	151.27	150.74	143.68	140.96
類似団体	259.56	248.92	294.73	301.23	300.33	-

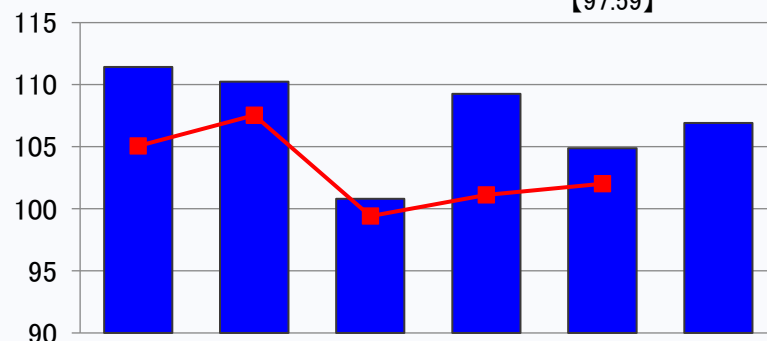
グラフ凡例

■ 企業団
 ■ 類似団体
 【 】 全国R06

1.経営の健全性・効率性

⑤料金回収率(%)

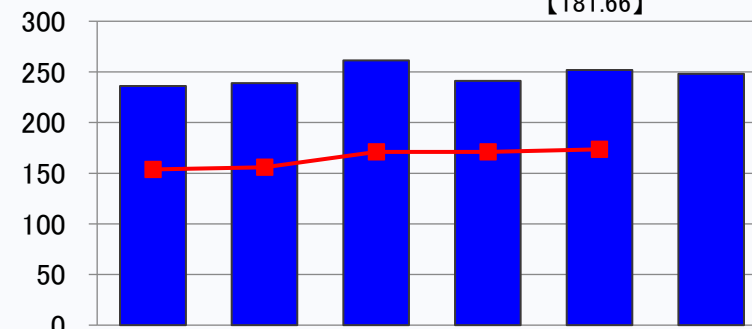
【97.59】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	111.42	110.24	100.82	109.26	104.89	106.91
類似団体	105.07	107.54	99.41	101.11	102.03	-

⑥給水原価(円)

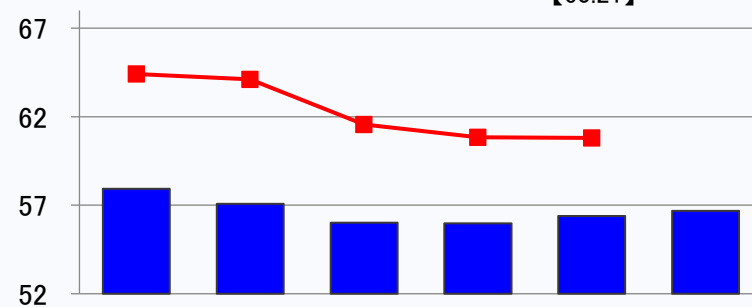
【181.66】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	236.16	238.80	261.46	241.12	251.94	248.16
類似団体	153.71	155.90	170.87	171.09	173.56	-

⑦施設利用率(%)

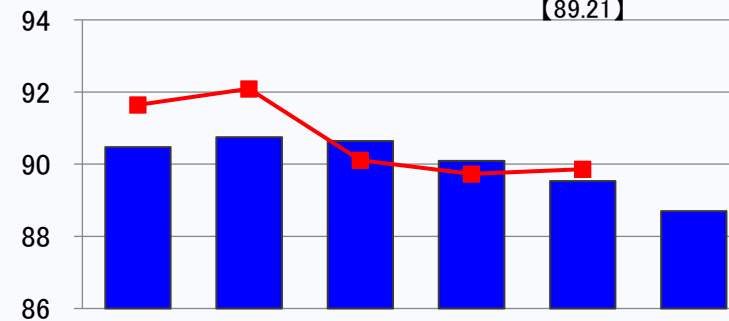
【60.21】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	57.93	57.08	56.01	55.97	56.40	56.68
類似団体	64.41	64.11	61.56	60.84	60.80	-

⑧有収率(%)

【89.21】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	90.47	90.75	90.64	90.09	89.53	88.70
類似団体	91.64	92.09	90.11	89.73	89.86	-

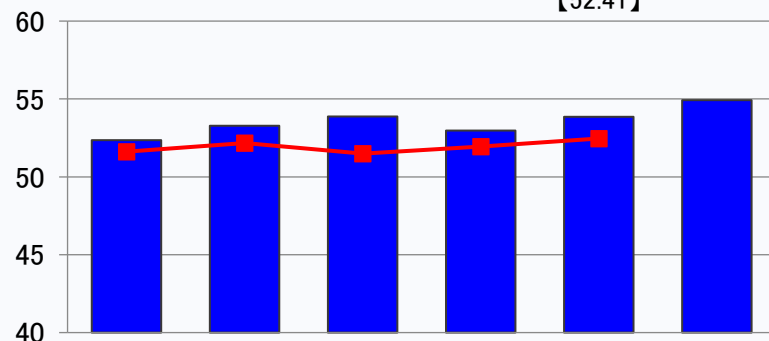
グラフ凡例

■ 企業団
 ■ 類似団体
 【 】 全国R06

2.老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

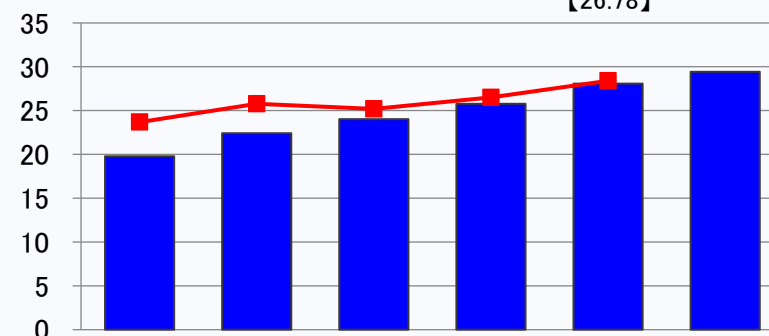
【52.41】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	52.35	53.27	53.87	52.97	53.85	54.93
類似団体	51.62	52.16	51.49	51.94	52.46	-

②管路経年化率(%)

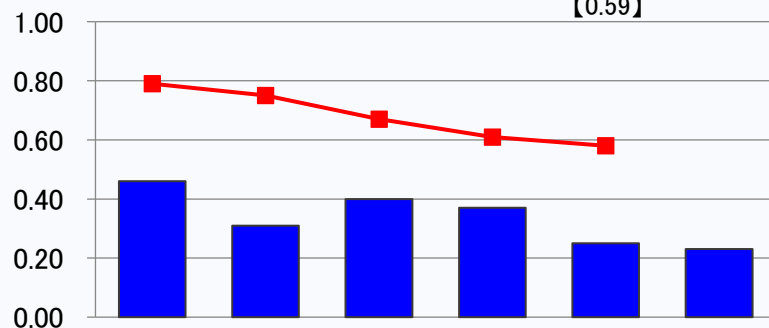
【26.78】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	19.79	22.43	24.02	25.78	28.06	29.41
類似団体	23.68	25.76	25.18	26.52	28.40	-

③管路更新率(%)

【0.59】



	R02	R03	R04	R05	R06	R07
企業団	0.46	0.31	0.40	0.37	0.25	0.23
類似団体	0.79	0.75	0.67	0.61	0.58	-

分 析 評 価

健 全 性

健全な状態を維持

経常収支比率は100%を上回っており、累積欠損金も発生していない。

料金回収率も100%を上回っているため、料金収入で費用が賄えている状態であり、経営状態は健全な状態を維持している。

効 率 性

悪くなってきている

給水面積が広く管の布設距離が長い一方、人口密度が低いため効率性の悪い地域である。地震の影響により一日平均配水量が増加したため施設利用率は増加し、有収率は低下した。

老朽化の状況

老朽化が進んでいる

減価償却率、管路経年化率ともに上昇し、老朽化が進んでいる状況にある。これは、法定耐用年数での更新ではなく、施設の状態を把握しながら、更新を行っていることも要因の一つである。

今後も人口減少や少子高齢化社会、節水技術が進歩し、料金収入が減少していくことが予想されます。さらに、労務費や物価が上昇するなか、施設の老朽化に伴う更新費用の増加など、より厳しい事業運営が見込まれております。

今年度は、第4次水道事業総合計画の第2回改定版の実施計画となる第12次中期財政計画の初年度であります。これらの計画に基づき、更なる効率的な事業運営、健全経営の維持に努めて参ります。

ご清聴ありがとうございました

